



Weekly Report 週報

クラブスローガン

「好意と友情を深める例会づくり」 2010-11 RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」

岐阜中ロータリークラブ創立20周年 (2010-2011)

前例会の記録

第928回

平成22年7月25日(日)

[点鐘] I.M. 10時00分

合同例会 12時30分

[ソング]

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数35名

(出席免除1名)

本日出席22名 62.85%

[行事] 岐阜A分区

ガバナー公式訪問

I.M.・合同例会

担当 会長

本日の予定

第929回

平成22年8月3日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 会員卓話 (1)

担当 内木会員・大橋会員

次回予定

第930回

平成22年8月8日(日)

[点鐘] 6時00分集合

[行事] 早朝例会

花火大会後の早朝清掃活動

担当 社会奉仕委員会

国際ロータリー第2630地区 岐阜A分区

ガバナー公式訪問 I.M.・合同例会

ガバナー挨拶

RI 第2630地区 A分区ガバナー
桑月 心様 (高山 RC)

今日は第2630地区12分区のトップを切ってA分区のIMです。森本ガバナー補佐を中心としたIM担当の岐阜北クラブの皆さま、準備等で本当にお世話をおかけしました。

以前ホームクラブ高山クラブがIMを担当することになりました。私は縁あって実行委員長をおおせつかりました。そのときあまり深い考えもなく、ただ、講演会の講師さえ、いい人を選び、あとは分区のみなさんにはるばる岐阜県の北にきてもらうのだから、いわゆる「おもてなし」の心で親睦を中心にやろうと企画しました。今思うとはずかしいのですが、何のための親睦かをまったく考えていなかったことでした。

やはり、柱は2本あり、①会員、

クラブ同士の親睦は一つだが、②親睦をよりどころとしたロータリーのいろんな問題にあかりをあて、ロータリーを皆で考え、他のクラブの実例を学ぶことが中心ではないでしょうか。

今一度、奉仕の理想を受け止め、ロータリーの活動は職業奉仕を通じた個人奉仕が基本であり、クラブが行なう奉仕活動は会員訓練のための実例だということをご理解してください。

ガバナー補佐挨拶

RI 第2630地区 A分区ガバナー補佐
森本時夫様 (岐阜北 RC)

本日は岐阜A分区のIMならびに合同例会に桑月 心ガバナーの出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

地区研修委員長のパストガバナー由良 久様、パストガバナーの皆様方、そして石井惣司ガバナー・エレクト

をはじめ地区役員の皆様には遠路よりご出席いただき誠にありがとうございます。

又、岐阜A分区の会員の皆様には多数の出席をいただいております。今日一日、ロータリーの研修と親睦に努めていただきます様お願いいたします。

さて、皆様もすでにご承知の通り、今年度のRI会長レイ・クリンギンスミス氏のテーマは「地域を育み・大陸をつなぐ」であります。桑月 心ガバナーは「一つの事にこだわらず幅広い活動を通して奉仕を」と唱えられています。

本日のIMには、我々に身近な方、岐阜A分区の故金正司氏に講演をいただきます。RI会長のテーマにふさわしい内容となり、ロータリー活動に夢を与えてくれるお話がいただけると思います。本日のIMが実り有

るものになります事を願っております。最後になりましたが本日の IM に、そして合同例会開催に当たってご尽力下さいましたホストクラブ、岐阜北ロータリークラブの岡田会長、若山実行委員長をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。



ガバナー補佐 森本時夫様

「夢をかたちに」

マラウイに蚊帳を贈る (現地報告)

講師 故金正司様



由良ガバナー (2008~2009 年度) は RI テーマ「夢をかたちに」より環境保全を地区テーマにかかげスタートした。「夢をかたちに」の内容は識字率の向上、病気や飢餓で苦しむ子どもたちに手を差し伸べる内容であった。由良ガバナーは環境保全と子どもたちの生命を守る大切さを結びつけ、アフリカ国内でマラリアが原因で死亡する 5 才未満の子どもたちが年間 100 万人もいる情報を知ることから始まった。

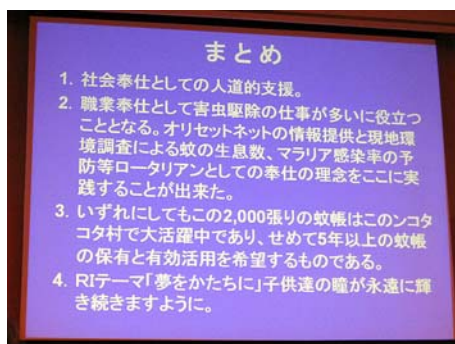
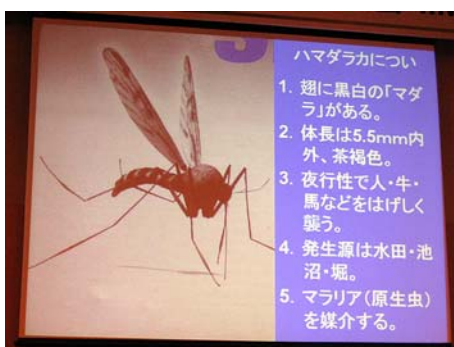
地区協議会の折に由良ガバナーは「しゃぼん玉」の歌を歌われた。野口雨情が子どもを亡くした時に作詞した歌である。ガバナーの優しい気持ち表現された一コマであった。そこで防虫剤練り込み素材の蚊帳が登場したのである。そしてこの蚊帳

の贈り先と管理を依頼できる NGO 法人の NICCO との出会いがあった。現在マラウイ共和国に職員が在住し国家予算で「マラウイプロジェクト」として支援活動をしている京都のグループであった。

この NGO 法人との出会いにより、蚊帳の現地宅配、3 ヶ月に一度、配達後の保有率をモニタリング (半年間経過後の保有率は 90%である)。こうしてマラウイ共和国の子どもたちの生存率を高め「夢をかたちに」が実現に向かったのである。

この事業のお手伝いは地区環境保全委員会が活動窓口として、由良ガバナーによる募金の呼びかけで実行に移された。約 2,000 張りの「防虫剤練り込み蚊帳」がマラウイ共和国のソコタコタ村に昨年 7 月に配布された。私は、①その後の経路、②蚊の発生する環境調査と対策を目的に関西空港を後にした。1 月 25 日夕刻のことである。現地のソコタコタ村に到着するまで日本から 3 日間の日数を要し、現地での調査活動は 3 泊 4 日で行われた。

日本から約 12,000km、赤道直下のこんな遠くによく来たもんだ。



合同例会 四つのテスト唱和

職業奉仕委員会 宮地正直委員長



ガバナー卓話

RI 第 2630 地区 A 分区ガバナー

桑月 心様 (高山 RC)

今日が公式訪問の最初の日です。いよいよスタートラインに立ったと思うと緊張します。第 2630 地区 A 分区はずっと岐阜では中心的な役割を果たしてきました。これからも奉仕活動で地区を引っ張って行ってもらいたいと思います。

今年の一月に世界のガバナー・エレクト 500 人以上が研修を受けるため、米国サンディエゴの国際協議会に集まりました。そこで感じたことはインド、ブラジルの人たちの存在感でした。ロータリークラブのある国々をみていきますと、あることに気づかされます。国際協議会で同期のガバナーが世界における会員の増減を一覧にし、発表されました。その一覧は①経済先進国②高福祉国③発展途上国に分けてありました。米国、日本のような経済先進国は会員が減少しており、会員が増加していたのはドイツ、イタリア、スイス、インド、ブラジルです。ドイツ、イタリアは EU の中心的な国であり、インド、ブラジルは発展途上国を抜け出して、経済が目まぐるしく発展しつつある国です。RI は会員減を受けいろいろ対策を練っています。その一つが CLP (CLUBLEADER SHIP PLAN) であり、もうひとつは RLI (ROTARY LEARNING INSTITUTE) です。RLI は RI の公式なプログラムではないのですが、

お墨付きをもらっている印象を受けます。事実、国際大会にあわせて RLI 主催の朝食会のゲストスピーカーに元 RI 会長を招待している点、次期 RI 会長のパネルジー氏が挨拶されたことや国際協議会（ガバナー・エレクト研修）の研修方法は多くの点でそのカリキュラムを踏襲しているようです。これらを取り入れるかはクラブ自治の範疇の問題であり、四大奉仕（7月1日から5大奉仕）を基準とした委員会構成をとるか、クラブ細則を自由に変更し、CLP型あるいは折衷型の委員会構成にするかは自由に考えて良いのではないのでしょうか。

ただ、経済先進国の米国、日本、

オーストラリアの会員減を考察するならば CLP、RLI を導入してもあまり機能していないのではないかと思います。EU のドイツ、イタリア等は会員増でも伝統的に個人を大切にしている国で、ロータリーの職業奉仕と相通じるものがあります。問題はインド、ブラジルなどにおける会員増を RI が受け、軸足を発展途上国にもっていつていると思われることです。2013年に全世界で始まるロータリー財団新補助金制度の6重点項目や RI の戦略計画（長期計画）はいずれも発展途上国に軸足を持って行っています。たとえば相手国の needs（必要なもの）とよくいいますが、

むしろ、ニュアンスが少し違う

wants（必要でも欲しいもの）ではないでしょうか。

現状の閉塞感を打破すべくわたしたちは新しい制度に目がいきがちですが、新しいことが常に正しく、伝統的なアプローチや方法がだめと言いつ切れません。確かに我々は立ち止まっている暇がありません。常にロータリアンとして「奉仕の理念」を顕在化させ具現化する動的な過程（奉仕活動）の中で考えることが大切なのではないでしょうか。

ロータリーの心、不易流行の不易なるもの、BACK TO BASICS の BASIC なものを今一度受け止めるべきでしょう。

今日はありがとうございました。



発行／岐阜中ロータリークラブ

- 事務局 〒500-8833 岐阜商工会議所 3F 岐阜市神田町 2-2 TEL.058-264-9235 FAX.058-266-4753
- 例会場 〒500-0817 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光 2695-2 TEL.058-295-3100
- 会長／故金正司 幹事／馬場秀幸 副会長／加藤一誠 ウェブ委員長／森 益男